

さかな みる・知る・食べる

きんぎょびじゅつかん (E マ)



まつざわ ようじ 松沢 陽士／写真、たかおか まさえ 高岡 昌江／文

ほるぶ出版

きんぎょにはいろいろなしゅるいがあります。

いろやもよう、かたちなどのちがいを楽しめるように、人がつくりだしたさかななのです。それぞれのちがいを楽しみながら、きんぎょについて少しくわしくなる写真絵本です。

とびうお (E ヨ)

すえひろ やすお 末広 恭雄／さく、よしざき まさみ 吉崎 正巳／え 福音館書店

とびうおはさかなですが、とぶことができます。でも、

さいしょから上手にとべるわけではありません。とびうおのあかちゃんは、まずおよぐれんしゅうからはじめて、少し大きくなってから、とぶれんしゅうをするのです。

うみの中のはくりよくあるようすをえがいた絵がいんしゅうできな一冊です。

釣って食べて調べる深海魚 (664 ヒ)



ひらさか ひろし 平坂 寛／文、キッチンミノル／写真

ながしま ゆうせい 長嶋 祐成／絵 福音館書店

深海とは、200メートルより深い海のこと。

この深海に住んでいるさかなは、ちょっとかわった見た目をしているものが多いのです。

この本では、深海魚のつり方、食べ方、そしてそのふしぎなとくちょうを、きれいな写真を見ながら知ることができます。まだまだなぞが多い深海魚のみみつをのぞいてみましょう。

およげないさかな (E セ)

せな けいこ／作・絵 ポプラ社

さかななのにおよげないさかなの子は、かいがんでいげんの男の子に会いました。およげないならスイミングスクールに行くといくと聞き、男の子とスイミングに行きます。ほかの子どもたちといっしょにおよぎ方をおしえてもらいますが…。ぶじおよげるようになるのでしょうか。

きりみ (E ナ)

ながしま ゆうせい 長嶋 祐成／え・ぶん 河出書房新社

お店で売られているさかなは、食べやすいようにきりみになっていることが多いですが、もとのかたちがどんなものか知っていますか？ この本では、りょうりされたさかなから、もとのかたちをたどることができます。さかなのどのぶぶんをたべているかや、さかなのとくちょう、住んでいるばしょなども知ることができるユニークな絵本です。

うみ (E ラ)

ピレット・ラウド／作、うちだ や や こ 内田 也哉子／訳 岩波書店

うみはさかなたちが大好きで、ねるまえにはものがたりをよんであげていました。ところが、さかなたちがさがわがしくするので、うみはどこかはずかなとこに行きたくなくなってしまいます。さて、うみがいなくなってしまう、ものがたりをよんでもらえなくなったさかなたちは、よるになってもねることができません。だれも字をよむことができないのです。すると、そこにあらわれたのは…。

ものがたりの良さがつたわってくるおはなしです。

イワシ むれでいきるさかな (E カ)

おおかた ただあき 大川 忠明／さく 福音館書店

うみにすんでいるイワシは、たくさん

のなかまであつまって、むれをつくって

くらしています。でも、イワシをねらって

とりやクジラなどのてきが次々とおそいかかります。イワシはどのように生きのび、いのちをつないでいるのでしょうか。

うみの中をいきいきとえがく絵もすてきです。



おさかないちば (E カ)

かとう やす 加藤 休ミ／作 講談社

まだよるがあけないうちに、おすしやさんのたいしょうと、おさかないちばにやってきました。いちばでは、まだうごいている買やしんせんなさかながたくさん売られています。さかなをうる人、かう人、はこぶ人、いろんな人がはたらいていて、にぎやかなようすが伝わってきます。

いのちがかえっていくところ (E イ)

もがみ いっぺい 最上 一平／作、いとう 秀男／絵 童心社

「たもん」は朝早く、お父さんと川にイワナつりにやってきました。自分ではじめてイワナをつって、やいて、食べるという体験をします。

しぜんの中でのいのちのうつくしさにふれ、いのちをいただくことのありがたさや、いのちのつながりをえがく、やくどうかんあふれる絵本です。

